

日々是好日(にちにちこれこうにち)

教頭 角 玲子

桜がきれいに咲きそろいました。3月初めは短く小さかったウグイスの鳴き声も、3月後半となり、長く力強く響くようになってきました。

岩戸養護学校では、3月10日に31名の3年生が無事に卒業し、気が付けば、本日は修了式。1年生、2年生もそれぞれの学年を終え、新年度の準備期間を迎えることとなります。

この1年間、感染症対策をとりながらいろいろなことを行ってきました。3年ぶりの有観客による岩桜祭、防災宿泊、修学旅行、職業製品販売会、現場実習、校内実習、調理実習などなど…。生徒たちは、いろいろなことに全力で取り組みました。その中で、楽しいこと、嬉しいこと、大変だったこと、つらかったことなど、いろいろな気持ちを味わってきたことと思います。

雨の日もあれば晴れの日もある。いいと思える日もあれば、今一つと思う日もあります。大変なことを味わうからこそ、嬉しいこと楽しいことをより大きく感じます。日々、いろいろなことがあっても、毎日がかけがえのない一日であり、精一杯生きることによって好日となる。

『日々是好日(にちにちこれこうにち)』という言葉が大好きです。この言葉のように、生徒たちにとっての日々が好日となるよう、次年度も職員一丸となって取り組んでいきたいと考えます。

保護者の皆様、地域の皆様、一年間、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。

